

2015年度 FD計画プロジェクト活動計画

FD計画プロジェクト・リーダー（暫定） 川上 忠重

<FD計画プロジェクト>

1 活動目的

教員ならびに教育の質的向上を図るための方策及び恒常的な検証を推進するための全学的なFD活動推進に資する関連情報を、学内学外を問わず収集し分析を行う。これらに基づき、FD活動推進にむけた諸施策を主として学内関連会議などへ提案を行う。

2 活動計画

1) 「学生による授業改善アンケート」に関する検討（新規）

2014年度の秋学期から、「学生による授業改善アンケート」のWebによる実施が導入され、各教員へのアンケート結果のフィードバックの迅速化が図られ、また、アンケートの教員・学生の負担軽減が図られた。一方、アンケートの実施率に関しては、回答科目数は、ある程度担保されたが、学生の回答率及び教員のシステムへのアクセス数（アンケート結果の閲覧）に関しては、今後の検討課題の1つである。

2015年度は、すでに多くの高等教育機関で取り組まれている「授業評価アンケート」の実施方法、実施科目、実施時期、質問項目、集計方法、教員・学生へ情報開示及び授業改善に向けた取り組み等の情報収集を、全国私立大学FD連携フォーラム（J P F F）等の協力を得ながら行い、より実効性のある「授業改善アンケート」に関する検討を、FD調査プロジェクト及びFD推進プロジェクトと連携しながら、施策検討を行う。

2) 「教員による授業相互参観」に関する施策及び情報提供（新規）

2013年度から各学部等を主体とした「教員による授業相互参観」が実施され、2014年度から、公開科目数及び実施科目数及び次年度への課題等に関する報告が行われている。これらの有益な情報を、より効果的に解析及び情報提供を行うことにより、学部・学科の「教育の質」向上に向けた「教員による授業相互参観」のあり方等に関して、教育のオンデマンド化・オープン化を視野にいれながら、施策について検討を行う。

3) 「中長期的なFD活動」についての検討（継続）

2014年度FD計画プロジェクト活動報告（2015年3月12日：第3回アドバイザリー・ボード会議）に基づき、未実施の組織的な全学的中長期のFDに関する情報収集を行う。2015年度は特に、教員へのFDサポートとして一部実施されているアカデミック・サポートのキャンパス間連携、関連部局との協働システムの構築及び昨年度の重点検討項目のWebシラバスの活用について、継続的に検討する。

以上